

【技術分類】 2-2-9 種別栽培方法／菌根性菌／アンズタケ科アンズタケ属

【技術名称】 2-2-9-1 アンズタケ (*Cantharellus cibarius*)

【技術内容】

1 生理・生態特性

マツ林または針広混交林に発生する。子実体からの分離は随伴細菌のため非常に困難¹⁾だが適切な培地で抗生物質などを使用すれば不可能ではない²⁾。培地上での孢子の発芽には長期間を要し、発芽率は低い²⁾。

2 接種技術

純粋培養菌株とヨーロッパアカマツの無菌苗を用い、連続培養装置で液体培地を補給しつつ培養することによって、接種が可能であった²⁾。

3 林地栽培

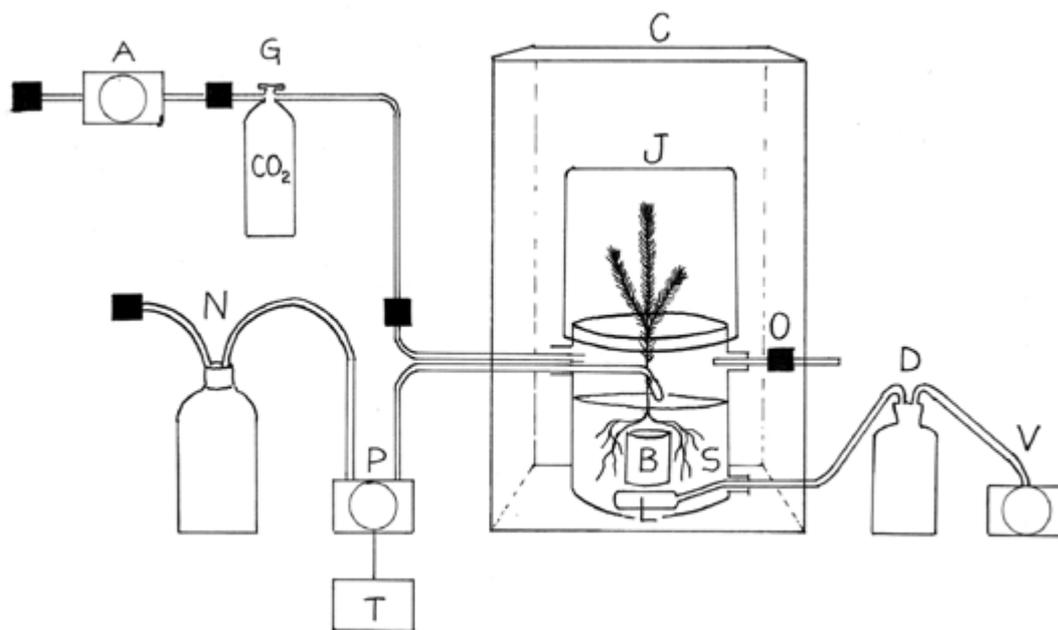
商業生産はすべて天然品の採集によっており、人工的な栽培は行われていない³⁾。

4 容器栽培

人為的に接種した苗木を鉢植えにして温室内で維持したところ、翌年子実体が発生した⁴⁾。

【図】

図1 純粋培養接種に用いた連続培養式菌根合成装置。AのエアポンプからCO₂添加空気を■のフィルターを通して容器内に導入し、Oから排気する。Pのタイマー付き送液ポンプから液体培地を連続的に供給し、Lの多孔質素材を経てDの廃液瓶へVの真空ポンプで吸引する。Bは培養菌糸体を入れた小容器、Sは滅菌した砂である。



出典：「*Cantharellus cibarius*: Mycorrhiza formation and Ecology」、Comprehensive Summaries of Uppsala Dissertations from the Faculty of Science and Technology 35、1994年、Danell E 著、Acta Universitatis Upsaliensis 発行、31頁、Fig.4.、検索日 2006年2月27日
<http://www.mykopat.slu.se/Newwebsite/mycorrhiza/kantarellfiler/bilder/fig4.gif>、2002年11月20日 updated

(Reproduced with author's permission.)

【出典／参考資料】

- 1) 「*pseudomonas fluorescens* in association with fruit bodies of the ectomycorrhizal mushroom *Cantharellus cibarius*」、*Mycological Research* 97 卷、1993 年、Danell, E、Alstroem, S.、Ternstroem, A. 著、Cambridge University Press 発行、1148–1152 頁
- 2) 「*Cantharellus cibarius*: Mycorrhiza formation and Ecology」、*Comprehensive Summaries of Uppsala Dissertations from the Faculty of Science and Technology* 35、1994 年、Danell E 著、*Acta Universitatis Upsaliensis* 発行、1–75 頁、検索日 2006 年 2 月 27 日
<http://www-mykopat.slu.se/Newwebsite/mycorrhiza/kantarellfiler/texter/rtf.htm>、2002 年 11 月 20 日 updated
- 3) 「Edible ectomycorrhizal mushrooms: challenges and achievements」、*Canadian Journal of Botany* 82 卷、2004 年 8 月、Wang, Y.、Hall, I. R. 著、National Research Council 発行、1063–1073 頁
- 4) 「Successful cultivation of the golden chanterelle」、*Nature* 385 卷、1997 年 1 月 23 日、Danell, E.、Canacho, F. J. 著、Macmillan Magazines 発行、303 頁